

市議会5会派 それぞれの角度から市政を Check !

代表質問

各会派を代表して5人の議員が行った、代表質問及びその答弁の要旨を掲載しています。

SOKA新政議団
鈴木由和



市民温水プール建設休止について

問 市民温水プールの建て替えが突如休止されたが、今後の展望は。

答 新年度予算編成で直面した厳しい財政状況を踏まえ、苦渋の決断をした。今後は(仮称)柿木・青柳エリアグランドデザインの策定を進め、民間活力導入の可能性や地元還元施設としての位置付けであることを十分に踏まえ、丁寧な対応を進める。

パリポリくんバスの延伸について

問 北東ルートへのレイクタウンへの乗り入れや南西ルートの市役所乗り

入れの見通しは。

答 レイクタウンへの乗り入れは現在策定中の草加市地域公共交通計画に位置付け、引き続き検討する。市役所への乗り入れは西棟改修後の周辺道路を把握する中、バス事業者や草加警察とともに検討を進める。

新たな不登校対策について

問 不登校児童数が増え続けているが、他市のようにメタバースの活用やパレットルームの設置の考えは。

答 不登校支援として、全中学校区にスクールソーシャルワーカーやさ

わやか相談員等を配置しているが、より充実した支援は必要のため、メタバースの活用や、パレットルームのような学校内での支援の充実が図れる教室設置の調査研究を進める。

手話言語条例等の取組について

問 手話言語条例、障がいのある人のコミュニケーション条例が制定されて2年経つが成果と今後の取組は。

答 これまで専任手話通訳者の増員や啓発イベント等を行っており、今後は周知冊子の全戸配布や条例に基づいた事業進捗の検討などを行う。

公明党草加市議会議員団
広田丈夫



福祉相談窓口の充実

問 福祉なんでも相談窓口を開設することだが、役割と効果について。

答 複雑化・複合化した課題を抱える方々に対し、年齢や障がいなど関係なく相談を受け、問題を抱え込み孤立しないよう、関係機関と横断的に連携を図っていく。

駅のホームドアの整備

問 草加駅急行のホームドア整備に向けての進行状況について。

答 令和6年度中の整備完了を予定

していると鉄道業者から伺っており、これにより、市内4駅全てのホームへの設置が完了する。

子どもの権利条約の理念の浸透

問 昨年、こども家庭庁が発足し、同時にこども基本法が施行された。こども基本法のバックグラウンドとなっている子どもの権利条約を、社会に浸透させていくことは大事である。今後の取組について。

答 令和5年度に開催した「子どもの権利条約かるた大会」が有意義であったと考えている。今後も、周知

事業に取り組んでいく。

企業版リノベーションの進行

問 令和5年度から開始された企業版リノベーションスクール@そうかの成果と今後の取組について。

答 製造業、建設業、草加せんべい店など多様な13社に参加いただき12の事業提案をいただいた。今後は参加いただいた企業を含め、企業同士の技術、知識を活発化させるよう、草加の課題解決と企業価値を高めるよう事業創出を支援していく。

自由市民議員団
芝野勝利



市長選挙について

問 江東区長がSNSによる選挙活動をし辞任したが、同様ではないか。

答 公職選挙法第142条の3で認められた活動と認識している。

職員との関係について

問 職員を私物化していないか。

答 私のあり様を見直していくよう努力し、同志として課題に取り組む。

財政調整基金の取り崩しについて

問 山川市政で長年積み上げてきた財調を56億円取り崩し、実質0円にしてよいのか。今後構造改革で予

算をつくるというが、具体的数字が見えない。将来が不安である。

答 サービス水準維持のためやむを得ず取り崩した。今後構造改革で予算を生み出していく方向だが、その効果を今示すことは困難。更なる歳入確保・歳出適正化を進めていく。

ペットと避難所の在り方について

問 大規模災害が日本で多発している。ペット同行避難の考え方は。

答 一定のルールのもと、市内全ての避難所においてペットスペースを確保し、同行避難を可能にする。

市立病院について

問 市立病院での療養型病床の確保は、将来本市の市民ニーズとして求められると思うが、市の考え方は。

答 現時点においては、今後しばらくは急性期医療の必要性が高まっていくが、本市の人口動態の変化を見極めた上で、検討の適時を判断する。

小・中学校の5分短縮授業について

問 年間85時間、草加市独自の対応を早期に検討してほしい。

答 先進的な自治体の取組に注視し、着実に準備を進めていく予定。

市民共同議員団
佐藤憲和



防災力の向上へ

問 能登半島地震を教訓に、草加市の防災の再点検を。

答 新年度に備蓄食料の拡充や、本市が被災した際の受援計画を策定する。災害関連死ゼロを目指し、災害医療体制構築に向けたワーキンググループを立ち上げたところであり、課題解決に向けた検討を進める。

老朽化した栄中の早期建て替えを

問 小・中学校を3年に1校建て替えても1世紀かかる先送りできない施策である。栄中学校の建て替えは。

答 新年度から基本構想・計画の策定等を行い、その後、基本・実施設計を経て、令和10年度頃に建て替え工事等の着手を目標に進める。

带状疱疹ワクチン助成制度を

問 草加市でも独自に带状疱疹ワクチンの助成制度を実施すべき。

答 国の審議会でも定期接種化に向けて議論がされており、引き続き国の動向を注視していく。

そうか公園運動広場の開放を

問 多目的運動広場について、団体予約が入っていない際は市民の健康

増進のために無料開放を。

答 課題を整理した上で、実施の可能性について検討する。

中核市への移行検討を

問 人口20万人以上の自治体は中核市に移行できる。市民サービス向上が可能で、市議会で検討中の動物愛護条例においても保健所権限を得ることで施策の実効性を担保できるようになる。中核市の検討を。

答 人口減少や少子高齢化など社会状況の変化も視野に入れながら、他市の動向などの情報収集を行う。

立憲民主党
草加市議会議員団
菊地慶太



保育園の待機児童対策を!

問 令和6年度の待機児童対策は。

答 待機児童対策の一環として認可外保育施設の認可化を予定している。令和6年度において認可外保育施設から認可施設への移行は2園で、定員は合計で1歳児が18人、2歳児が20人、計38人の予定。この認可化により、38人分の受け皿の拡大を見込んでいる。

地域の多世代交流・こどもの居場所づくりの支援拡充を!

問 こども食堂など地域の自発的で

多様な多世代交流活動・居場所づくりが広がるよう、アウトリーチ機能の強化や補助事業への方針は。

答 現在、実施場所の確保を支援しているほか、団体からの相談対応、広報そうかや市ホームページにおける周知などの対応をしている。また、必要に応じて、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した民間まちづくり等支援補助金に手を挙げていただくことで、自らの活動をPRしながら、活動資金を確保する取組を後押しする。

草加市立病院の産科の再開を!

問 再開に向けた取組は。

答 これまで、病院事業管理者とともに東京医科歯科大学を訪問し、産科再開に向けての協力要請を行ったほか、近隣大学などに医師派遣の働きかけを行ってきた。現在市立病院では、常勤医1名、非常勤医2名の産婦人科医師が在籍し、婦人科領域の拡充が図れることとなった。産科再開については、引き続き病院事業管理者と連携して進めていく。